

子育て支援事業

すまいる文殊っ子広場2018

日時 5月26日(土) 受付 9時30分
10時～12時

場所 片上公民館、片上体育館

参加費 一組100円

内容 親子でリズム遊び、ほおば飯作り体験など

申込み 5月23日(水)まで
(片上公民館へお願いします。)

※詳細は、サポーターさんが直接配布しますチラシをご覧ください。

＝子育て広場5月の日程＝

開催日	場所
2日(水)・16日(水)	片上公民館
23日(水)	ジャンボ広場

【時間】 ★10時～12時

5月行事予定

7日(月) 町内公民館長会

9日(水) 子育て支援ネットワーク委員会

10日(木) 放課後子ども教室説明会

11日(金) 公民館運営協議会

12日(土) 花壇種まき作業

17日(木) 愛育会

25日(金) すまいる文殊っ子広場 2018 準備

26日(土) すまいる文殊っ子広場 2018

※変更する場合があります。ご了承ください。

＜休館日＞

3日(木) 4日(金) 5日(土) 6日(日)

13日(日) 15日(火)

20日(日) 29日(火)

【平成30年度 片上公民館事業予定】

- 4/29(祝) 第31回 鯖江かたかみ春たんぼ
- 6/3(日) 第58回地区民体育大会
- 6/23(土) 東部地区文化講演会
- 8/4(土) 知恵の盆
- 9/9(日) 片上地区敬老会
- 11/3(祝) 片上地区文化祭
- 12/9(日) 公民館大掃除
- 1/13(日) 新成人の集い

～第58回～ 地区民体育大会のお知らせ

日時 6月3日(日)
午前8時30分開始

会場 片上小学校グラウンド
(雨天：片上小学校体育館)
〈お願い〉

体育協会町内理事より、選手の出場依頼がありましたら、参加協力をお願いします。

主催：片上地区体育協会

花祭り子ども大会開催しました

4月15日(日)、片上地区青少年育成協議会共催の『花祭り子ども大会』が、西教寺(吉谷町)で開催されました。

花祭りの式典後、ゲームなどのお楽しみ会をし、子ども達は楽しい時間を過ごしたようです。

花祭り

お釈迦様の誕生日を祝う行事のこと。お釈迦様に、甘茶をかけます。



文殊



平成30年4月25日 発行

片上公民館
〒916-1102
鯖江市大野町 6-8-1

電話 51-4801

FAX 51-8947

E-mail SC-CC-Katakami@city.sabae.fukui.jp

片上地区 4月1日現在
世帯数 570世帯
人口 1,837人
(男912人 女925人)

文殊の里の春まつり

鯖江かたかみ春たんぼ2018開催

準備万端！皆さまのご来場をお待ちしています

主催：鯖江かたかみ春たんぼ2018 実行委員会

日時 4月29日(日・祝)
午前9時～午後4時
会場 文殊山・片上公民館周辺

4月15日(日)に、29日(日・祝)開催の【鯖江かたかみ春たんぼ2018】に向けての準備を行いました。田んぼリンピック会場となる田んぼ整備を中心に、雨の降る中、作業をしました。実行委員会の皆さま、大変お疲れ様でした。魚つかみ会場では波板で魚が逃げないように仕切り、そり引き競争の会場では坂をつくりました。



田んぼ整備作業



○よいとこ音頭

4/19(木)、4/26(木)の練習では、皆さん真剣に取り組んでいました。片上小学校の児童、片上幼稚園児も練習をしています。当日の飛び入り参加も大歓迎です。いっしょに盛り上げましょう♪

○キッズダンス

3月2回、4月7回、練習をしています。子ども達もはりきっていますので、ぜひ、見に来てください。



着任のあいさつ

この度、館長を務めさせていただくことになりました。ふるさと片上の公民館で勤務できることは、幸せであるとともに、責任の重さを感じているところです。

片上公民館が地域のコミュニティセンターとしての役割を果たし、赤ちゃんから高齢者までの多くの方々が集まり、笑顔で文化交流の諸活動が活発に行われるよう、微力ではありますが、力いっぱい職務にあたってまいりたいと考えています。

片上地区の皆様のご支援とご協力、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

片上公民館館長 西川 春夫

片上の宝もの 看板設置

～私達で片上の自然を守りましょう～

片上の宝物という看板を片上の川の4カ所に立てました。片上の川には、多種多様な生きものが住んでいます。しかし、その環境は決して、すばらしいものではありません。回りの山々から流れる水を集めた一本の狭い川だけに守られている危うい環境です。私たち住民が、その大切さをあまり知らないうちに、他所から来た人が、貴重な生きものたちを何度もかすめ取って行ってしまいました。昔はどこにもいたタガメやゲンゴロウなどの水中昆虫や、美しい蝶、そして山野草などが、今では、インターネットを

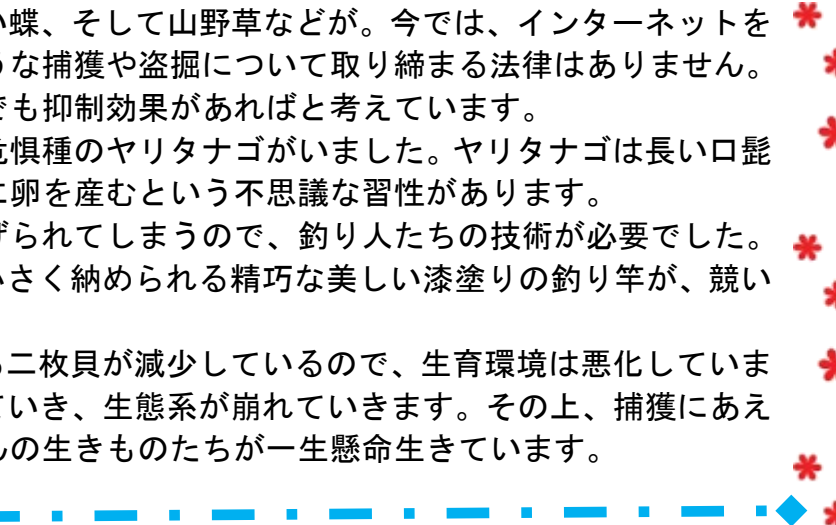


利用して、高価格で取引されているのです。このような捕獲や盗掘について取り締まる法律はありません。しかし、看板によって、みんなが注意しあい、少しでも抑制効果があればと考えています。

数年前に実施された川の生きもの調査では準絶滅危惧種のヤリタナゴがいました。ヤリタナゴは長い口髭を持ち、口がとても小さく、大きなマツカサ貝などに卵を産むという不思議な習性があります。

おちょぼ口のタナゴは、簡単に釣れず、すぐに逃げられてしまうので、釣り人たちの技術が必要でした。そのため、江戸時代にはタナゴ釣り文化が発達し、小さく納められる精巧な美しい漆塗りの釣り竿が、競い合うように制作されたそうです。

現在、片上の川には、ヤリタナゴのゆりかごとなる二枚貝が減少しているため、生育環境は悪化しています。一種なくなると、依存していた種も減っていき、生態系が崩れていきます。その上、捕獲にあえばますます減少していきいます。水面下では、たくさんの生きものたちが一生懸命生きています。



片上地区の健康診査を実施します！！

～自覚症状がない…今がチャンスです！

年1回のお得な健康診査・がん検診の機会を是非ご利用ください！～

健診種別		特定健診 肝炎ウイルス検診 骨密度測定 前立腺がん検診 ピロリ菌抗体検査	肺がん検診 大腸がん検診	胃がん検診 (バリウム検査) (隔年受診) ※要予約
受付時間		9:00～10:30	8:30～9:45	8:00～8:30
片上公民館	5月11日(金)			●
片上公民館	5月21日(月)	●	●	

※平成30年度は、北中山公民館で実施する乳がん、子宮頸がん検診への送迎バスは出ません。

- ・特定健診は、40～74歳の鯖江市国民健康保険加入者が対象です。
- ・がん検診は、40歳以上(子宮頸がんは20歳以上、胃がんは50歳以上)の市民であれば受けられます！(ただし、胃がん、乳がん、子宮頸がん検診は2年に1回の受診対象者になります。)
- ・平成30年度は、各地区公民館での「大腸がん採便容器配布日」はありません。採便容器は、集団検診当日の会場やアイアイ鯖江、指定医療機関で配布します。
- ・胃がん検診、子宮頸がん、乳がん検診は地区公民館の受診も事前予約が必要です。詳細は、平成30年度健診受診券に同封されている日程表をご覧ください。



【後期高齢者医療保険加入の人へ】

- ・後期高齢者健康診査は、主治医等(指定医療機関)で受診してください。
- ・ただし、がん検診は、指定医療機関や地区公民館等のいずれかを選択し受診しましょう。

問合わせ・予約先：鯖江市健康づくり課(アイアイ鯖江内) ☎0778-52-1138

片上地区防災協議会発足

「防災・減災・縮災」の理念のもと、自主的に防災対策活動に取り組み、防災意識の普及啓発および訓練などを実施し、災害の未然防止と災害復旧に向けて取り組みを行うことを目的とする片上地区防災協議会が3月7日に発足されました。

会員は原則、片上地区防災士・防災リーダーで構成されています。

各町内の防災訓練等にも参加しますので、よろしくお願ひします。

本会の趣旨に賛同していただける関係団体(個人の方でも)は、お知らせください。

〈活動計画〉

8月 児童向けの防災教育

11月 片上地区防災講演会

公民館だよりにてお知らせをしますので、積極的にご参加をお願いします。

市東部地区防火訓練

3月25日(日)に、南井町満徳寺および公民館周辺で防火訓練が行われました。

南井町山本区長さんをはじめ、南井区民の方々が一致団結して、バケツリレーでの消火訓練も行い、片上地区防災協議会の会員も参加しました。

多数の消防車とヘリコプターも来て、林野火災防御訓練も行われ、地区民の皆さんは、見学をしました。

鯖江・丹生消防組合職員、消防団員、南井区民総勢100名の参加があり、訓練の最後は、鯖江・丹生消防署長の辻岡繁一氏(青葉台)より講評をいただきました。



バケツリレーの様子です！

～片上の貴重な生き物 その⑤～

ゲンジボタル

初夏、南井の南側の県道沿いに流れている川にホタルが舞います。暗闇に、強い光を放って飛ぶ様子は、とてもきれいです。

このゲンジボタルは生まれて大人になるまで、住む場所を変えていきます。

卵は小さく、水辺のコケの生えたところに何百も産卵され、幼虫になると、およそ9か月、水中で暮らします。脱皮を繰り返しながらカワナという巻貝の肉をとかして食べます。春になると地面に上がり、土の中でサナギになり、1か月ほど後に翅がはえて、飛んでいきます。

水辺から、きれいな川へ、そして、土の上というふうに変えていくたびに、すみかを大きく変えていくので、この中の一つでも環境が悪くなるとホタルは生きていけません。生まれても、大人になれるのは、ごく、わずか。いろいろな試練を乗り越え、光を点滅させて飛ぶゲンジボタルに、いっそう、いとおしさが増してきます。

まるで飛ぶ宝石のような点滅光は、ホタル同士の会話です。コンタクトを取るその光は、なんと幼虫やサナギの頃から光っているそうです。

執筆者：南井町 齋藤壽子氏